



撮影／三宅一美

戦後80年企画展

# 苦難の道程

Kunan の Doutei

朝鮮引揚げの  
記憶と記録

2025

7/15(火) — 10/13(月祝)

前期：7/15(火) — 8/31(日)

後期：9/2(火) — 10/13(月祝)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合はその翌日、ただし8月12日(火)は開館)

開館時間：9時30分～17時30分(入館は17時まで)

入館無料



帰還者の記憶  
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES  
IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES  
平和祈念展示資料館[総務省委託]

戦後80年企画展

# 苦難の道程

Kunan の Doutei

## 朝鮮引揚げの 記憶と記録

1945(昭和20)年8月、日本が植民地支配をしていた朝鮮半島は、アメリカとソビエト連邦によって分割占領されました。しかし、その場所にはまだ多くの民間の日本人が取り残されていました。終戦後、彼らがたどった苦難の道程と、帰還のために尽力した人々の姿を、「記憶」と「記録」という側面から見つめます。あわせて、米国立公文書館に残る記録資料と、帰国した引揚者を迎えた引揚援護局が果たした役割を紹介します。

戦後80年を迎えた今夏、数々の困難を乗り越え引き揚げた人々に思いを馳せていただく機会となれば幸いです。



引揚時のリュックサック



京城日本人世話会々報



朝鮮銀行券



帰国のため荷物をまとめる家族。朝鮮・木浦にて。  
(米国立公文書館 所蔵)

### 関連イベント【予約不要 参加無料】

※先着入場順で満席になり次第、ご案内を終了いたします。 ※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。ご来館の前に当館ホームページでご確認ください。

#### ▶ 専門家による講演会 各日14:00～(約60分) 会場:ビデオシアター

7月26日(土)

「マッカーサーと朝鮮」 増田弘(立正大学名誉教授、帰還者たちの記憶ミュージアム館長)

8月24日(日)

「朝鮮半島からの帰還と引揚援護」 加藤聖文(駒澤大学文学部歴史学科教授)

9月7日(日)

「米軍が見た帝国解体と日本の在外財産—戦後日韓関係の出発点」

浅野豊美(早稲田大学政治経済学術院教授)

#### ▶ 体験者による語り部お話し会 [ライブ中継]

7月20日(日)、8月11日(月・祝)、9月21日(日)

各日14:00～(約60分)

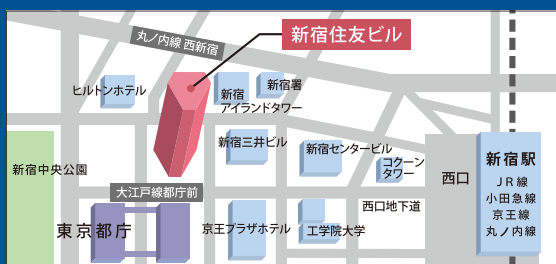
リモートで語り部と当館ビデオシアターをつなぎ、ライブ方式でお話し会を開催します。

※語り部はリモート出演となります。

#### ▶ ギャラリートーク

7月20日(日)、8月17日(日)、9月21日(日)

各日13:00～(約30分) 会場:企画展示コーナー



東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階

Tel. 03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp>

@heiwakinen

▶ 都営大江戸線(都庁前) 駅 A6出口より徒歩約1分

▶ 東京メトロ丸ノ内線(西新宿) 駅より徒歩約5分

▶ JR 線、小田急線、京王線(新宿) 駅西口より徒歩約10分



帰還者  
たちの  
記憶  
ミュージアム  
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS DETAINED  
IN KOREA AND POSTWAR REPATRIATES  
平和記念館資料館【聴務委託】